愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2023年度	開講期(Semester)	後期
授業科目名(Course name)	国際コミュニケーション論		
担当者(Instructors)	吉村 美路	配当年次(Dividend year)	2
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	選択

■授業の目的と概要(Course purpose/outline)

本講義では、自身の生まれ持った価値観をもってどのように世界の人たちと向き合えばよいのか、異文化という枠組みを超えて人類学や進化心理学という視点も交えながら考えていきます。 本講義では、国際化が進む世界の中で私たちが理解すべき基本を身に付けてもらいたいと思います。他国の政治的課題や文化の形成過程を知る事で、より良い国際交流をができる人材となる事を目指します。

■授業形態・授業の方法(Class form)

授業形態(Class form)	講義
授業の方法(Class method)	授業は講義を中心に必要に応じてグループワークも取り入れ、受講者同士で協力しながら学習を進めます。

■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)

回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	オリエンテーション～授業スケジュール・講義概要～	授業計画・成績評価の方法・学習の目的と目標・習得すべきスキルなどについて解説します。	□
第2回	グローバル社会はすぐそこに～わたしたちは何を理解してどうふるまうべきか～	1.未来は日本オフィスもグローバルに　2.実はアメリカ以外の文化をあまり知らない日本人　3.日本に居ても日本文化がスタンダードにならないビジネスの現場?!	□
第3回	【国際コミュニケーション①】 コミュニケーション表現～相手の発言や行動の真意は？～	1.さまざまな真意　2.知っていることが「思いやり」　3.相手の尊厳を傷つけていませんか？　4.相互理解を通じて	□
第4回	【国際コミュニケーション②】 コミュニケーション表現～「気遣い」も国によってさまざま～	1.日本は世界の中で今どこにいるのか　2.ちょっと不思議な国、日本　3.【本日の友好国】ブルネイ王国	□
第5回	【国際コミュニケーション③】 コミュニケーション表現～文化圏によって異なる「大人な対応」～	1.文化圏によって異なる人の印象　2.包んで魅せる国、日本　3.【本日の友好国】ポーランド	□
第6回	【世界の中の日本①】 コミュニケーション表現～迷信が日常に根付く国、日本～	1.縁起かつぎ、語呂合わせ、冠婚葬祭　2.海外の迷信と類似するケース　3.【本日の友好国】ブラジル連邦共和国	□
第7回	【世界の中の日本②】 日本人のルーツ～どこからきて、どんな特徴を持つのか～	1.DNAで見る日本人のルーツ　2.言語から見たルーツ　3.作法から見たルーツ　4.【本日の友好国】パラオ共和国	□
第8回	【国際政治】 地理的条件と国の成功～隣国との関係～	1.海か・陸か　2.統治力　3.資源と人口　4.【本日の友好国】フィンランド共和国	□
第9回	【体験実習】 異国文化に触れてみよう！	【学外ワーク】フィンランド文化調査として、実際に衣・食・住を体験します。	□
第10回	【世界を見つめよう①】 世界の貧困：４つの分断	1.地球のどこかで生きる「あの子たち」　2.ファクトフルネス：世界の真実　3.【本日の友好国】イラン・イスラム共和国	□
第11回	【世界を見つめよう②】 世界の資源と紛争	1.ロシア・ウクライナ紛争と世界　2.紛争と資源　3.世界のエネルギー政策　4.【本日の友好国】サウジアラビア王国	□
第12回	【世界を見つめよう③】 世界の中の権力と労働	1.安くて良いモノの背後にあるもの　2.私たちはどのように選択し生きていくべきか　3.【本日の友好国】セルビア共和国	□
第13回	【世界を見つめよう④】 慈善行動を考える	1.寄付における課題の存在　2.ポバティー・インク　3.クラウドファンディングという世界　4.【本日の友好国】ドバイ首長国	□
第14回	世界を旅する～見たことのない世界への切符～	1.世界一周チケット　2.どんな旅にしたい？3.旅を終えて　4.【本日の友好国】カナダ	□

第15回	これまでの振り返り・総復習・テスト	これまでの振り返り・総復習・テスト	□

■授業時間外学習（予習・復習）の内容(Preparation/review details)

【事前学習】次回授業のテーマについて、関連する自己の体験や印象的な事例をピックアップしておくこと（2時間程度）。 【事後学習】講義で学んだことを再確認の上、自分なりに再考すること。課題が与えられたときは、その日のうちに解決するよう心がけてください（2時間程度）。

■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)

講義内容に沿った課題プリントを講義の前に配布する。解答は講義の中で提示する。 講義の最後に行う小レポートで挙がった質問に関しては、次回講義の冒頭で解説する。

■授業の到達目標と評価基準(Course goals)

区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
思考力・判断力・表現力	◆ 2021国際ビジネスDP2	世界の文化を学び、自国を客観的に捉える視点を身に付けることを目指す。国際社会の中で、自国の特徴を生かし、他国を尊重しながら国際交流を行うことができる。

■成績評価(Evaluation method)

筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験（in-class exam)	その他(Other)
			50%	50%

授業内試験等(具体的内容)(Specific contents)

授業の終わりにその日の学びについて、小テストor小レポートを実施します。オンデマンドとなった際は、毎回の授業課題の提出(講義内容を踏まえた内容であること)をもって、出席とみなします。

■テキスト(Textbooks)

No.(No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	教科書として購入する必要はありません。必要に応じ、授業の中でプリントを配布します。	
2		
3		
4		
5		

■参考図書(references books)

No.(No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	異文化理解力――相手と自分の真意がわかる ビジネスパーソン必須の教養	
2	FACTFULNESS-10の思い込みを乗り越え、データを基に世界を正しく見る習慣-	
3	多様性の科学 画一的で凋落する組織、複数の視点で問題を解決する組織	
4		
5		